

日本交通心理学会 日本交通心理士会

理論と実践の融合で創る
安全な交通社会



交通安全に新たな価値の創造

研究者と実務家が一丸となって研究を続け、安全で快適な交通社会の実現に貢献しています。研究者たちが行う研究は、机上の空論ではなく、現場のニーズに基いている必要があります。実務家たちが利用するノウハウは、経験則よりも、科学的根拠に基いている必要があります。したがって、研究者と実務家がコラボレートすることで、さらなる価値を生むのです。私たちは、安全な交通社会のために、共に行動し研究しています。

活動内容

其の1

研究者と実務家の独自のシナジー

理論と実践の融合がもたらす、唯一無二の価値創造

会員の**約半数**が教習所指導員・運輸・保険関係者等の実務家



研究者にとってのメリット

現場のリアルな課題に
基づく研究テーマの発見

実践的なフィールドでの
研究機会の獲得

研究成果の即時的な
実務への適用と検証

実務家にとってのメリット

最新の研究知見に基づく
実務改善の機会

科学的アプローチによる
業務効率化や安全性向上

他業種・同業種の
実務家との情報交換や
協働プロジェクトの創出

安全な交通社会を目指して、研究者と実務者が協力しながら、新たな知見の発見や実践方法の開発のために、日々研鑽を積んでいます。



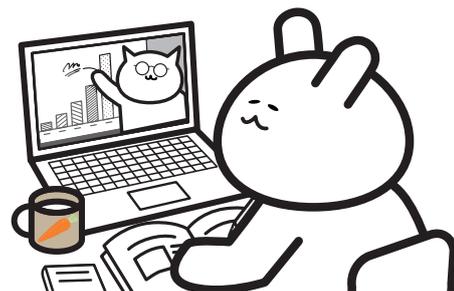
充実のキャリアアップ支援

あなたの成長が、社会の安全につながる

交通心理士・主任交通心理士を取得し、指定の講習を修了することで、国土交通省が定める「第一種・第二種カウンセラー」資格の取得に必要な条件を満たすことができます。実務家にとって大きなメリットのひとつです。

交通心理士ステップアップ講習

オンラインと対面を組み合わせた柔軟な学習環境で、大学教員による質の高い講義を受けることができ、実践的なスキルを習得ができる会員向け教育制度です。認知心理学、社会心理学、実験計画法、統計学、AI活用法など幅広いテーマを扱っています。



交通心理士資格取得

日本交通心理学会は、交通心理学に関して一定以上の知識と経験を持った人を「交通心理士」として認定しています。「日本交通心理士会」は社会的認知度の高い4種類の交通心理士で構成されており、実務家が多いことが特徴です。日本交通心理士会は日本交通心理学会と連携し専門的知識の提供と技能支援を行い、交通事故防止の啓発活動等を通して社会的貢献とキャリアアップの後押しをします。

日本交通心理学会入会
試験に合格

交通心理士補

5年以内に
昇格条件をクリア

交通心理士

さらに上位を
目指すなら

主幹総合
交通心理士

主任
交通心理士

交通心理士資格取得
について詳しくは→
jatp-web.jp/?page_id=127

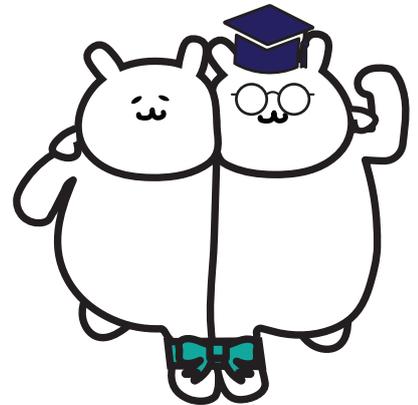


※大学等で必要な単位を取得している場合や、
産業カウンセラー・公認心理師等の有資格者につ
いては、試験の一部または全てが免除される
場合があります。

発表支援制度

経験豊富な会員によるマンツーマン指導

交通心理士会では、研究発表の経験が少な
い方に向けて、研究計画立案から論文作成、
プレゼンまでを全面的にサポートする「発
表支援制度」を提供しています。



活動内容

其の3

活発な学术交流

多様な機会がもたらす、知識と人脈の広がり

年間を通じた多彩な
発表・交流機会が
あります

年次大会

年1回

最新の研究成果を共有する学会の最大イベント

日本交通心理士会全国大会

年1回

実務に即したテーマで議論を深める場です。実践
報告や研究発表が行われます。発表者は実務家が
中心。研究者も多数参加します。



地区別研究会

毎年3地区で開催

地域に密着した実践報告や研究発表が行われます。

北海道・東北・関東地区／中部・近畿地区／中国・四国・九州地区



地域ワークショップ

地域特有の課題に焦点を当てた集中的な討論の場



懇親会

仲間づくりに最適!

❖「学会の本番は懇親会から」と言われる、驚異の参加率!❖

研究者と実務家の垣根を超えた交流で、新たなコラボレーションが数多く誕生しています。初参加でも歓迎ムードなのでご安心ください。二次会まで熱い議論が続くことも。ここから始まる共同研究や、Discord*を活用した情報交換等で結束力が高まります。



*テキストチャットや音声通話、ビデオ通話などができる無料のコミュニケーションツール

活動内容

其の4

グローバル視点の醸成

世界と繋がり、交通心理学の最先端に触れる



若手向け国際学会参加支援制度

若手会員の国際学会参加の旅費・参加費の補助の制度があります。

国際交流委員会の活動



海外の心理学関連団体と積極的に交流し連携を強化しています。

活動内容

其の5

専門性を深める部会活動

個々のテーマを深化させる実践的な学び合いの場

教習所部会



- 交通心理学の教習・講習・研修への活用
- 教習所に関わる安全教育関連情報の発信
- 効果的な安全運転教育に関する調査・研究

学校・家庭部会



- 発達段階別の交通安全教育
- 保護者向け交通安全啓発活動の企画
- 学校と連携した交通安全 initiatives の推進

企業部会



- 企業の運転者向け安全運転推進策の研究
- 企業の安全管理体制構築のサポート
- 運行環境等改善による事故防止策の検討

医療福祉部会



- 病気や加齢で支援が必要な方のモビリティを確保
- 質の高い運転評価や指導のための研究と実践
- 多職種連携で安心・安全・健康な移動を推進



1 実務直結の研究活動

理論と実践の架け橋として、現場に即座に役立つ知見を深めています。実務家は問題意識やフィールドを、研究者は専門知識や技術を提供し合い、一緒に問題解決にあたります。

2 多彩な学習機会

講習や資格制度を通じて、自身のペースで専門性を高めるなど、最先端の研究を学ぶチャンスがたくさんあります。

3 活発な学術交流

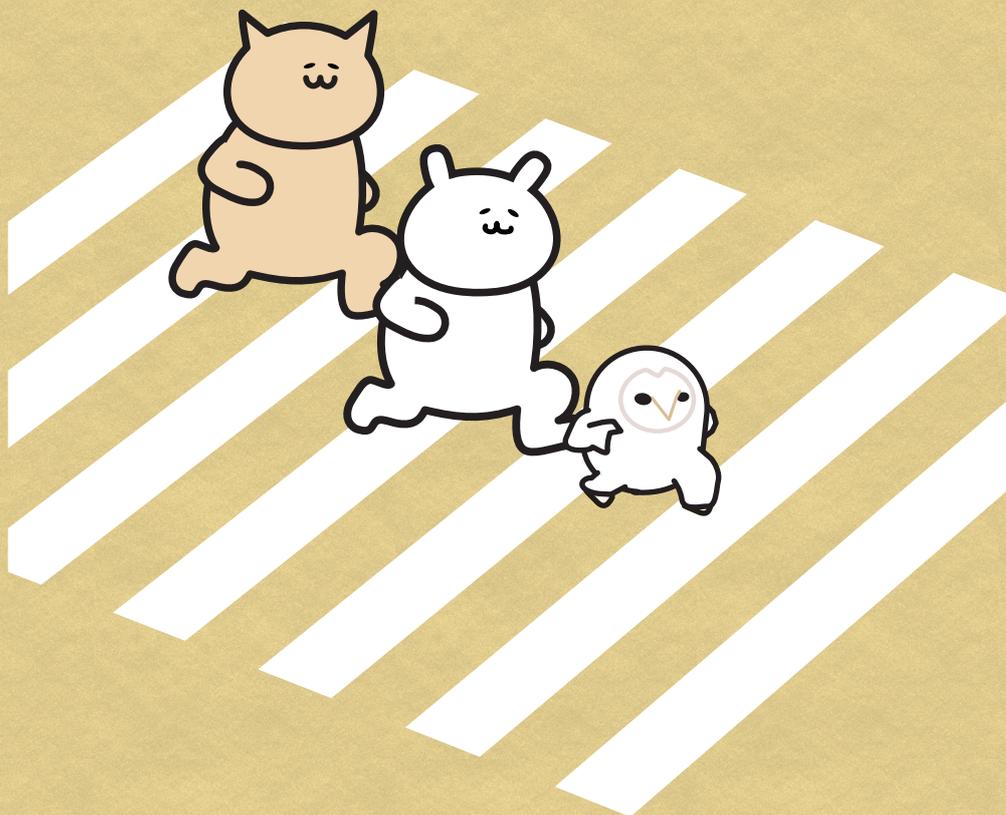
全国大会や地区別研究会、会員による自主企画イベントなど、研究者や同業の実務家と交流・情報交換できる機会が充実しています。多角的な視点からの意見交換により、新たな発見の場となっています。

4 社会貢献の実感

身につけた知識や資格は、営業活動や教習生の指導、講演会など、様々なシーンで活かされます。研究や活動が直接的に交通安全の向上につながる実感が実感できるはずです。

5 常に進化する学会

社会の変化に合わせて、新しい研究領域に積極的に挑戦しています。



入会等に関するお問い合わせ

日本交通心理学会事務局

〒160-0004
東京都新宿区四谷 4-32-8
YKB サニービル5F

 **03-3351-5120**

 **staff@jatp-web.jp**



 jatp-web.jp/

交通心理 検索

発行日：2025年4月